

事務事業名	企業チャレンジ推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進	担当者名	武田 堅治	電話番号	0854-40-1011
目的・対象	市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。	(内線)	2332
基本事業	〈002〉まちづくりの人材確保	予算科目	0:1:1:0:0:1	事業名	企画総務管理事業
目的・対象	市民	意図	地域社会の担い手になる。	事業名	企業チャレンジ推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①地域自主組織、市民 ②市内外の企業	①企業と連携・協働して地域課題解決に取り組む ②社会課題を解決する新事業を開発する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 □単年度のみ ■単年度繰返(R元 年度～) □期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・社会課題の解決をめざす企業等を誘致し、地域自主組織や市内事業者等とともに、地域課題解決に資する新たな事業創出を図る。 ・企業チャレンジを推進するための人材を配置し、具体的な事業案件(事業モデル)づくりと、企業チャレンジの制度設計の具体化(地域とのマッチングの方法、企業からの資金・人材拠出のルールづくり等)を進める。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・企業との連携協定の締結 ・各企業の事業案件サポート ・企業等からの問い合わせ、視察対応 ・企業の社員研修の受入れ ・企業チャレンジ推進連絡会の開催	・地域自主組織への個別訪問・ヒアリングを実施し、地域課題・ニーズの洗い出しと、企業チャレンジへの理解促進を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 連携協定を締結した企業数	件	3	3	1	3
イ 社会実装件数(実証事業を経て、新たに地域にサービス提供された事業数)	件	0	0	2	1
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
旅費(費用弁償) 90千円	国庫支出金	千円	1,110	900	900	1,760
負担金(地域活性化起業人) 13,000千円	県支出金	千円				
合計 13,090千円	地方債	千円				
	その他	千円			990	2,160
	一般財源	千円	15,209	12,500	11,200	17,952
	事業費計	千円	16,319	13,400	13,090	21,872

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・デジタル人材育成「デジ×チャレ」では、学習から就職までを支援し、19名が受講、うち4名の就職が決まり、7名の就職支援を引き続き行っている。 ・新スマート物流の構築に向けて、掛合町内の薬局や商店、タクシー・物流事業者等へのヒアリングを行い、今後の取組方針を整理した。今後、地域住民へのヒアリングを基に実証事業を展開していく。 ・新たに1社(アルプロン)と連携協定を締結し、脱炭素化に資する新たなプロジェクトが始動した。
② 事業実施するうえでの課題	・実証段階から本格的な事業展開に進むには、実施体制づくりと資金調達が課題となるため、これらを支援する仕組みを検討していく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・引き続き、地域自主組織と連携を深め、実証事業の実施や新規案件の組成を図っていく。